

## 専門（林学）

熊本県では、戦後造成された人工林資源が成熟し、利用期を迎えていることから、主伐等による素材生産量は増加傾向で推移しており、令和4年の木材生産の産出額は160億円で全国6位となるなど、林業生産活動が活発化している。

一方で、主伐面積に対する再造林面積の割合を示す再造林率は、近年、4～5割程度と低位となっている。

そこで、再造林が十分に進んでいないことの理由及び再造林を促進するための対応方策について、森林・林業・木材産業を取り巻く状況や課題を踏まえてあなたの考えを50行程度で述べなさい。